

編集後記 成長の陰に みどりさん!?

先日、浅田真央さんの引退会見がありました。

最後まで彼女らしく爽やかでした。僕が特に印象的だったのは会見の中で「伊藤みどりさん」、「みどりさん」と彼女が何度も口にしたことです。

浅田真央さんにとって本当に憧れの存在だったのでしょうか。

伊藤みどりさんには、僕も大きな衝撃を受けたことを思い出します。

社会人になって間もない頃、結婚されて新居を構えた学生時代の先輩の丹波篠山のご自宅に、友人らと泊りがけで遊びに行ったことがあります。そこでみんなとテレビで観たのが、

たまたまやってた、カルガリー五輪の女子フィギュアスケートのフリーでした。

フィギュアスケートをきちんと観たのはその時が初めてだったかもしれません。

だって、フィギュアってスポーツというよりはバレエのように優雅さを競うもので、

日本人にはあまり関係なさそうだし、正直あまり興味もありませんでしたから。

そこに登場したのが、他の選手よりも明らかに小柄で、スタイルも日本人らしい伊藤みどりさんでした。

しかし、一緒にテレビを観ていた皆がその演技に引き込まれていきます。潑刺としたパワフルな動きと

スピード、何といても圧倒的なジャンプの高さ。そして最後のジャンプを成功させた時のガッツポーズ。

途中から会場の観客も立ち上がってのスタンディング・オベーション。これぞ万雷の拍手。

彼女のフィギュアスケートは間違いなくスポーツで、彼女は素晴らしいアスリートでした。

先輩や同級生らと興奮や感動を共有したことで、特に深く記憶に残っているのだと思います。

真央さんの子供の頃のコーチはみどりさんを家族同然に育てたコーチでもあったので、きっと偉大な先輩の話を知っていたのでしょう。真央さんは、みどりさんを「ちっちゃい頃からの憧れで、大先輩であり目標でもあり大好きな選手」と語っていました。成程、人の成長の陰には身近な憧れや目標の存在があるものです。

世間ではこの4月、多くの社会人が誕生しました。

しかしながら、新入社員の3割が3年以内に退職すると言われています。

好きな仕事ばかりさせてもらえるわけはありません。しんどい仕事もあるでしょう。

入社間もなく仕事に行き詰って退職する人には、同じ職場に、憧れや目標の存在はあるのでしょうか。

断片的に垣間見た身近な先輩や上司と自分の将来を重ねて、拙速に見限って退職した人はいないでしょうか。

新入社員を迎えた、すべての会社の先輩の皆さんにお願いします。

すべての新米社員が、自分で目標の存在を見つけられるとは限りません。

どうか新米社員の周りの先輩社員や上司の魅力や、人となりを伝えてあげてください。

人間関係は全ての基本。リスペクトまでいかなくとも、新しい職場環境への親しみや理解が進むかも。

僕が会社員の頃、2つ下の新入社員の後輩に女性がいました。その名も「みどり」さん。(^^)

その彼女が入社して間もない頃、僕が仕事で失敗をした彼女を泣かせたことがありました。

キッカケは「もっと落ち着いて。『慌てる乞食は貰いが少ない』って諺があるでしょ。」と僕が言ったから。

そしたら「私を乞食と一緒にするのですか!」と、号泣されちゃったわけです。(+_+)

その時、オロオロしている僕に代わって、「子供の頃から落ち着きのなかった柿野は、いつもお母さんにそう言われてたんだって。」と会社の先輩がフォローしてくれて、何とか収まりました。

そのみどりさんとは、その後30年経った今も親交が続いています。

それに僕もあれ以降、職場で女性を泣かせたことはありません。(たぶん…です)

てことは僕もまた、「みどりさん」のおかげで成長できた一人になるのかな。(笑)



アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



前略おふくろ様
僕は良き先輩に
恵まれて候…